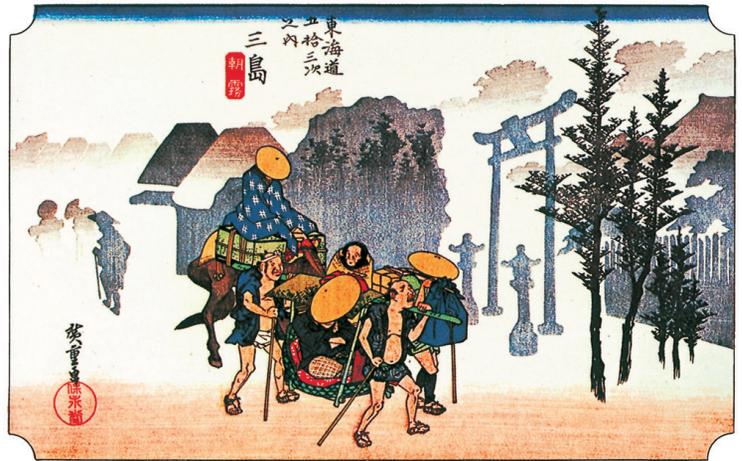


R. I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2211号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

第2281回例会

2020.7.9雨

司 会 栗原達治君

ロータリーソング 「我等の生業」
指揮 古屋英将君

会長挨拶 会長 千葉慎二君

新型コロナ問題を契機に、社会の在り方や仕事の仕方が大きく変わる、或いは変化が促進される可能性があると言われます。テレワークやリモート会議などがその代表例でしょう。これが実現すれば、東京の一極集中が緩和される一方で地方都市の活性化が計れるかも知れません。週に一日二日新幹線で東京へ出社すれば良く、あとは都会の喧騒を離れて自然に恵まれ温暖な地で伸び伸びとテレワークする若者が増える。そんな賑やかな三島を見られたら嬉しい限りです。

新型コロナ問題より前から進められてきたキャッシュレス決済も、促進されるものの一つでしょう。人と物理的な接触なしに買い物や決済がされるようになって行きます。国内ではオリガミペイはメルカリに吸収救済され、競い合っていたラインペイを引き離して今やソフトバンク系のペイペイが大躍進しています。これには、1,000人以上の営業社員を投じて地道に店舗回りをさせた経営戦略が大きく功を奏したと言われています。

アタッカーズ・アドバンテージと言って、後発組には先発組の作った仕組みを利用して低コストを実現するというメリットもあるでしょうが、デファクトスタンダードを創り易いIT分野では、後発組のデメリットを挽回するには並大抵のことは済まないケースが多く、先発組に勝つには10倍働くか10倍頭を使えと言われています。

大きな波に飲み込まれてしまわないように世の中の流れを良く見ながら、変化に上手に対応して行きたいものだと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバーアップ	修正出席率
前々回	36/45	80.00%	37/45	82.22%
今回	45/49	91.84%	会員総数	50名

欠席者 芦川君、澤田君、橋本君、桃瀬君

幹事報告

幹事 三田明宏君

1. 7月行事予定

①30日(木)呉竹 通常例会 前年度決算報告・会長方針

2. 8月行事予定

①6日(木)呉竹 通常例会

会員増強月間 卓話:矢岸 克行委員長

②13日(木)呉竹 夜間例会 卓話:秋山 恭亮君

ガバナー補佐訪問 長友範充ガバナー補佐
事務局 原田精治君

②27日(木)呉竹 通常例会 卓話:澤田 稔君

2. 報告・協議事項

*持ち回り理事・役員会において以下の3案件を承認いたしました。

①板倉 千成氏の退会を承認いたしました。

②板倉氏の退会により、当クラブに1名の欠員が発生し、所属を予定していましたクラブ広報委員会より、1名の補充要請があり、森藤 賢君の指名を承認いたしました。

③関本 照文・前田 博利・赤池 克斗氏より入会調書が提出されました。

町野 暉(まちの あきら)氏50歳、この件も承認いたしました。

2020~2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナー

ロータリーは、機会の扉を開く

クラブ協議会

SAA

松本邦夫君

<基本方針>

三島西ロータリークラブの親睦を基調とした伝統を継承し、本年度会長の基本方針を踏まえ、例会時の会場監督という立場を自覚し、和やかの中にも規律ある例会の運営に努める。

<活動計画>

- 1.適切な卓話時間を確保する。(会員慶事の一言スピーチは行わない)
- 2.例会中は発言者・発表者に敬意をもって臨む。(私語を慎み、拍手、携帯マナーモードの徹底など)
- 3.席替え、テーブル会は年4回実施する。

クラブ広報委員会

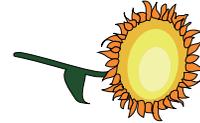
委員長 遠藤眞道君

基本方針

伝統ある三島西ロータリークラブの名の元、会員にわかりやすい会報を発行する。

活動計画

- (1)毎週紙面を充分活用し、ロータリーの心得、知識、情報を細かく載せる。
- (2)クラブの活動、予定変更を伝える。
- (3)5.7.5文字ロータリー川柳を年間を通じて募集して紙面をわかせる。



会員増強維持委員会

委員長 矢岸克行君

<基本方針>

50周年に向け一層の会員増強を図るとともに、退会防止としてコミュニケーションをより活発にし、情報共有を行うことでの会員維持へ努めてまいります。

<活動計画>

- 1.会員数50名を必達とする。
- 2.会員維持のための情報交換や活性化のための意見交換を図る。
- 3.候補者情報の収集を進め、積極的な勧誘をする。

クラブ管理運営委員会

委員長 矢野敏夫君

<基本方針>

- 1.年間プログラムの作成:クラブ方針に基づき、卓話などのプログラムを作成する。
- 2.出席率の向上を目指す:参考となる情報を発信する。
- 3.IT(情報技術)の推進を図る。

<活動計画>

- 1.クラブ方針に基づき、卓話などのプログラムを作成する。
- 2.なるべく多くの会員に卓話の機会をつくるため、近年の卓話実績を参考として卓話者を選ぶ。
- 3.卓話者には事前の確認を連絡する。
- 4.卓話日程の変更は、1ヶ月前までに委員会に報告することをお願いする。
- 5.年間出席率100%の会員に記念品の贈呈。
- 6.その他必要に応じ、クラブの効果的な運営を行う

親睦活動委員会

委員長 鈴木正二君

テーマ 明るく元気なお出迎え

(基本方針)

- 1.親睦活動委員会メンバーの情報交換を密にして、企画力・実行力を発揮して会員と会員家族が楽しめる運営をする。
- 2.50周年に向け「親睦一座」の準備をする。

(活動計画)

- 1.12月 クリスマス家族例会を実施する
- 2.3年春 家族親睦例会を実施する
- 3.3年6月 さよなら例会を実施する
- 4.年3回の夜間親睦例会を実施する
- 5.スマイルの促進の声掛けをする
- 6.ゲストビジターのおもてなし(席へ案内、コーヒー、週報)
- 7.例会の受付と週報等を配布する
- 8.親睦一座について会員の声を集め、企画・発足する

ロータリー情報委員会

委員長 野田和秀君

<基本方針>

- 1.RIや地区からのロータリー情報をはじめ、ロータリアンとして必要と思われる情報を収集し、会員に伝達する。
- 2.新会員のクラブへの同化の促進を最重要課題とする。
- 3.現時下のコロナ・ウイルスによる大変化の時期におけるロータリーの規定等の変更点にも注意を払っていく。

<活動計画>

- 1.新会員の勉強会・懇親会を会長・幹事・スポンサーと共に開催し、併せ、ロータリーについての理解を深める為の資料等を適宜準備し、提供する。
- 2.地区大会、地区の研修会等に参加し、情報の収集に努める。
- 3.規定等の変更を察知した際には、規定検討委員会と連携し、理事会への資料等提出し、承認を得て会員に報告する。

職業・社会奉仕委員会

委員長 西本和夫君

新型コロナウイルスの影響で地区協議会が行われず地区目標も不明の中、見切り発車しました。活動計画は例年の行事を並べ職業奉仕委員会と社会奉仕委員会が合体した状況で活動が熟しきれるか心配ではありますが。恒例の見晴フェスティバルの中止が決まったり社会情勢が大きな変化をしています。千葉会長の意向で職業奉仕を主体に活動計画を考え直していきたいと思えます。会員各位のご協力をよろしく願います。

規定検討委員会

委員長 亥角裕巳君

基本方針

三島西ロータリークラブ創立50周年に向けて、定款・細則・内規・申し合わせ等を改めて勉強し、12月までに問題点等検討の上必要があれば改定する。

スケジュール

第1例会後に委員会開催

8月 定款・細則・内部規定問題点の洗い出し

9月～10月 改定案の検討・具体的な実施方法

11月 理事会採決

12月 年次総会採決

ロータリー情報委員会と連携し印刷準備

国際奉仕委員会

委員長 原 久一君

<基本方針>

国際奉仕委員会は、交換中学生事業を通し教育、伝統、文化の交流を深めてまいります。苗栗RC・苗栗東南RC・酒田東RC・多治見西RCとは、継続してお互いの会員同士の意識の高揚に繋げてまいります。三島市国際交流協会事業を支援し協賛事業とします。

<活動計画>

1三島市及び清水町の教育委員会に派遣中学生の推薦をお願いします。

2第35回三島西RCとして三島市、清水町の交換中学生の派遣。

3三島市国際交流協会事業への協賛。

ロータリー財団米山委員会

委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団

<基本方針>

ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解と推進

<活動計画>

地区補助金の活用

年次基金寄付 US\$ 150 以上／人・年

ベネファクター(恒久基金寄付)US \$ 1000. クラブ1名以上

ポリオプラス基金への寄付 US \$ 30 /人・年

米山

<基本方針>

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し、併せて米山記念奨学会事業に対して会員各位の理解を深めて頂くよう努める

<活動計画>

米山奨学生支援として奨学生の卓話依頼

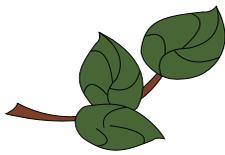
米山奨学生の学友活動をサポートする

米山梅吉記念館の支援と活用



おめでとう

会員誕生日 室伏君、森藤君、
三田君、西川君、平出君、
遠藤(正)君、矢岸君
入会記念日 相山君、古屋君
奥様誕生日 鈴木(郁)君
結婚記念日 藤江君



スマイルボックス

- ◆ 森藤君、本日誕生日を迎え44歳になりました。
- ◆ 室伏君、千葉さんへ、宴会場の換気の工事をスピーディーに手配いただきありがとうございます。
- ◆ 和田君、ゴルフ同好会打ち上げ、ありがとうございます。
- ◆ ゴルフ同好会、7月5日(日)原年度取りきり戦を富嶽カントリークラブにて開催しました。優勝西川さん・準優勝加藤さん・3位鈴木都夫さんでした。次回は8月23日(日)芦ノ湖カントリークラブにて千葉年度第1回目を行います。



ROTARY NEWS

RI会長のメッセージ

ホルガー・クナーク(2020-21年度RI会長)

2020年7月

今は楽観視するべき時ではないと思われるかもしれませんが、今こそ楽観視するべきなのです。ロータリー創立のずっと前から、人類は進歩と忍耐という能力を試すような重大な危機に見舞われてきました。ロータリーの時代になり、さらに数多くの悲劇に直面してきました。それを乗り越えて人類は今に至っています。そして、ロータリーは常に世界を癒すために尽力してきました。

どの危機も、再生と成長の機会なのです。新型コロナ危機が始まったばかりの頃、「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマをサンディエゴで開催された国際協議会で発表しましたが、これは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。

ロータリーは入会したクラブがすべてではなく、そのクラブを通じて機会の扉が開かれます。ほかの人たちや自分自身のために機会を生み出すために私たちは活動しています。小さなことでも、大きなことでも、ロータリーの奉仕行為は助けを必要としている人びとのために機会を生み出します。そして、ロータリーはあらゆる人びとのために、より豊かで、より有意義な人生を、世界中の友とともに中核的価値観に基づいて送るための機会の扉を開くのです。

政府や団体はロータリーの活動にとって大きな意味合いを持つ公衆衛生のパートナーシップへの理解を深めています。自粛生活の中で絆を求め、地域社会の助けになりたいと願う人びとは、ロータリーが創立以来掲げてきた理念を信奉するようになっていきます。

これは朗報ですが、これまで以上にロータリーが活躍する機会が増えているからといって、成功が約束されているわけではありません。世界は急速に変化しています。それは、今回の危機が始まる前からのことです。お昼の例会からオンラインの会合への移行が始まりつつありました。会合の大半がZoomやSkypeで行われるようになる前から、ソーシャルメディアで友情がつつかわれ、旧交が温められ、交流が行われるようになっていました。若い世代には奉仕への強い欲求があります。が、ロータリーのような団体が重要な役割を任せてもらえるのかどうか、違う種類のつながりを築く方がより大きな影響を及ぼせるのではないかと私たちは問われています。今こそ、すべての選択肢を検討して、新しい方法を試し、ロータリーを未来に向けてそなえる時です。

コロナ禍で誰もが変化に適応せざるを得ませんでした。これはよいことです。ロータリーの新しい行動計画では、適応能力を鍛えるように呼びかけています。しかし、適応するだけでは充分ではありません。この新しい時代の問題に対処し、世界が切実に必要としているロータリーになるためには、私たちは変わらなくてはなりません。それも、劇的に。

それが、今年度だけでなく、今後のロータリーの課題です。理想を実現するための手立てを求めている若い世代の考えやエネルギー、やる気を心から歓迎し、新しい時代に合わせてロータリーを変えていけるかどうかは私たちにかかっています。これまでの活動をただそのままオンラインに移行するのではなく、デジタル時代に完全に適応した団体にならなくてはなりません。

世界はこれまで以上にロータリーを必要としています。今後何世代にもわたってロータリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうかは私たち次第です。

(週報担当:遠藤真道)

三島西RCテーマ

ホップ、ステップ
新たな飛躍に向けて足下を見つめてみよう